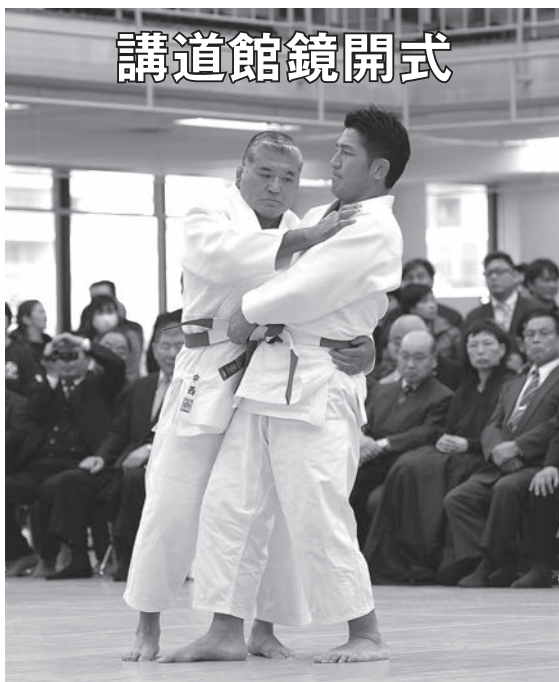


BUDŌ

NEWS

今月のニュース

講道館鏡開式



合気会鏡開き式



第 36 回 若潮杯争奪武道大会



講道館鏡開式

オリンピック・パラリンピックの開催へ 日本伝統の柔道の教えに立ち返ろう

講道館鏡開き式は1月12日に、全国から約500名の修行者、関係者が集まって講道館大道場で行われた。

式は午前10時に開会。はじめに講道館員を代表して北哲郎八段が「今年^{今年}は東京オリンピック・パラリンピックが開催される年です。柔道は世界各国に飛躍的に普及・発展していますが、この発展は嘉納治五郎師範が確立した柔道に日本の武道の『勝つて驕らず、負けて腐らず』の精神があつたからだと思えます。しかし近年、勝負にこだわらず、礼を失うことが見られ、懸念しておりま

す。柔道は単なるスポーツやゲームではなく、人生の哲学であります。その本質は『精力善用』『自他共栄』の教えを体得し、世に補益することです。日本伝統の柔道の教えに立ち返り、微力を尽くして柔道の確立に邁進する決意であります」と賀詞を述べた。

次に、上村春樹館長より年頭挨拶があつた。

「本鏡開式は講道館が始まって間もなく開催された歴史と伝統のある重要な行事の一つであります。新年を祝い、館員の無病息災、そして修行者の安全を祈願することが趣旨であります。今年も柔道界では、たくさん^{たくさん}の行事、大会等が予定されています。特に、夏には2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックは嘉納師範が心血を注いで育てたものであります。私たちはその意志を継いで柔道

界が一丸となつてオリンピックを成功させなければなりません。私も年頭にあたり、嘉納師範の遺訓に立ち返り、『精力善用』『自他共栄』の実践に努め、皆様と一緒に国内外に正しく柔道を普及・振興し、そして後世にも正しく柔道を伝えていく責務を果たしていく所存です」

その後、7種の形の演武、強化選手と少年部・女子部・成年部による乱取稽古が披露された。本年は、少年部に井上康生柔道日本男子監督が、女子部に女子78kg超級選手としてオリンピック出場が内定している素根輝選手が参加し、会場の注目を集めた。

昇段発表証書授与では、各段位に昇段した代表者に上村館長から証書が手渡された。恒例のしるこ会では、参加者がしるこに舌鼓を打ちながら、仲間たちと語り合った。



上村春樹館長



形の演武（柔の形）



形の演武（投の形）



素根輝選手（左）が女子乱取稽古に参加し、修行者と汗を流した



少年部乱取稽古には井上康生柔道日本男子監督（右）が参加

■形演武者

- ◇投の形Ⅱ取・富澤和英七段、受・卷下広史五段
- ◇固の形Ⅱ取・下野龍司五段、受・大館斗志爾四段
- ◇極の形Ⅱ取・道場良久八段、受・南保徳双六段
- ◇柔の形Ⅱ取・浅野日月女子式段、受・浅野華月女子初段
- ◇講道館護身術Ⅱ取・福地賢志郎七段、受・新井栄二六段
- ◇五の形Ⅱ取・市川洋文六段、受・山崎正義七段
- ◇古式の形Ⅱ取・中西英敏八段、受・松本勇治七段



昇段発表証書授与

マンガ・武道の偉人たち
田代しんたろう



マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎（柔道）、高野佐三郎（剣道）、阿波研造（弓道）、
双葉山（相撲）、船越義珍（空手道）、植芝盛平（合気道）、宗道臣（少林寺拳法）、
園部秀雄と三田村千代（なぎなた）、鶴沢尚信（銃剣道）

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

合気会鏡開き式

日々精進しながら 主要行事の成功を祈念

合気会鏡開き式は1月12日に合気会本部道場で開かれ、国内外から約1千名の修行者が集まって新年を祝った。

式は午後2時に始まり、植芝守央^{うゑしばもちゅう}合気道道主が年頭の挨拶を述べた。

「合気道開祖・植芝盛平翁が創始された合気道は現在、世界140の国と地域に大きな輪が出来上がっておりま
す。開祖のつくられた技と哲理が素晴らしいことであると同時に、今日に至るまで多くの方々が真摯に合気道に取り組んできた現れだと確信しています。今稽古をしている方々は正しい形で次の世代へ繋^{つな}げていくこ



植芝守央合気道道主

とが責務だと思っております。また、今年は全日本合気道演武大会が群馬県・高崎アリーナで、第13回国際大会が代々木の青少年オリンピックセンターで開催予定です。本年は今までと違った形で色々な行事があります。行事の開催のためには皆さんをはじめとする世界中の合気道修行者の方々のお力が必要です。しっかり稽古をしながら今年も皆さんと共に歩んで参りたいと思います」

次に、山谷えり子参議院議員が役員挨拶を行った。植芝道主の奉納演武の後、推薦昇段者の発表及び証書授与式が行われた。初段から七段までの各段位昇段者の代表者と八段昇段者に植芝道主が証書を手渡した。

証書授与式後は、直会^{なほわい}が開かれた。はじめに、多田宏本部道場師範が挨拶を述べた。そして、赤沼二己男理事の発声で乾杯。参加者たちは卓を囲みながら、話に花を咲かせた。



昇段者への証書授与



直会



植芝道主による奉納演武

好評発売中

藤堂良明 (とうどう よしあき)
(筑波大学名誉教授) 著

学校武道の歴史を辿る

四六判・上製・354頁・本体2400円＋税

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。

学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

著者略歴

藤堂良明 (とうどう よしあき)

1949年(昭和24)、埼玉県生まれ。東京教育大学体育学研究科修士課程修了。筑波大学教授(体育科学系)、同大学体育専門学群副学群長、同大学附属中学校長、全国国立大学附属学校連盟会長、日本教育大学協会副会長、日本武道学会理事、全日本柔道連盟教育普及委員会委員などを歴任。

現在、筑波大学名誉教授。博士(学術)。柔道七段。埼玉県柔道連盟副理事長。日本古武道協会常任理事。

目次

- 第1部 江戸時代の学校武道
 - 第1章 藩学の創設と文武学習
 - 第2章 藩学における教育目標
 - 第3章 藩学における武芸教育
- 第2部 明治時代の学校武道
 - 第4章 武芸の衰退と学校教育制度の確立
 - 第5章 学校武術採用に関する体操伝習所の答申
 - 第6章 山岡鉄舟と嘉納治五郎
 - 第7章 嘉納治五郎の学校柔道普及戦略
 - 第8章 明治期の学校における武術の普及状況
 - 第9章 武術の正課採用への歩み
- 第3部 大正時代の学校武道
 - 第10章 文部省主催武術講習会の目的と内容
 - 第11章 学校体操教授要目の制定と内容
 - 第12章 「学校体操教授要目」制定後の体育界の動向
 - 第13章 大日本武徳会の設立と影響
 - 第14章 学生武道の隆盛
 - 第15章 改正学校体操教授要目の制定と内容
- 第4部 昭和20年以前の学校武道
 - 第16章 精力善用国民体育と学校武道
 - 第17章 柔・剣道が正課必修に
 - 第18章 戦前の学生武道大会の発展
 - 第19章 国民学校体操科の登場
 - 第20章 第二次大戦中の体操科武道
- 第5部 戦後の学校武道
 - 第21章 戦後の学校武道の禁止と復活
 - 第22章 「格技」の誕生
 - 第23章 格技から武道へ
 - 第24章 中学校武道必修化の実現
 - 第25章 これからの学校武道のあり方

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中

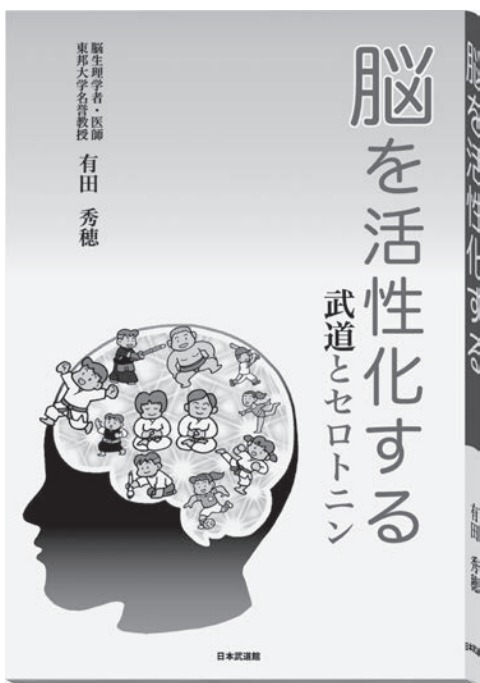
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレスとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長

東邦大学名誉教授

松永 光

有田 秀穂

：他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

武道の全容をこの一冊に集大成！

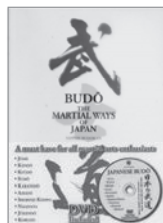


日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

『日本の武道』の英文版(DVD付)



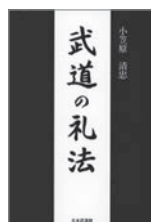
BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

武道における礼法を小笠原流宗家が直々に指南



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)

武道をわかり易く描いた教養マンガ



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

希代の弓人阿波研造の人物伝



霊箭 阿波研造物語

小学校教諭

馬見塚昭久 著

(四六判・上製・320頁)

日本人が拠り所としてきた価値観を詳説



日本の元徳

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・334頁)

『五輪書』などの代表的な武道伝書を詳解



武道伝書を読む

天理大学教授

湯浅 晃 著

(四六判・上製・348頁)

著者の半生をたどり、弓道の魅力に迫る



弓道 その魅力

山口大学名誉教授

岡村豊太郎 著

(四六判・上製・272頁)

子どもを育む武道の教育力を詳説



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

武道の文化的・伝統的な事柄を解明



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)

第36回若潮杯争奪武道大会

柔道男子

国士舘（東京）が2連覇



柔道男子決勝次鋒戦＝国士舘・岡部（右）が内股で一本勝

第36回若潮杯争奪武道大会（主催
日本武道館、国際武道大学）が昨
年12月26日・27日に国際武道大学で
開催された。

全国から選抜された高校生が初日
に剣道（団体）、2日目に柔道（団
体）、なぎなた（個人）の各種目で
日頃の稽古の成果を競った。

□柔道の部（男女各16チーム）

1・2年生により、男子5人制、
女子3人制で実施された。4校ずつ
の予選リーグの後、各リーグ上位2
校、計8校による決勝トーナメント
で優勝を争った。

男子は、昨年優勝の国士舘（東京）
と昨年準優勝の東海大付属相模（神
奈川）が、今回も決勝で顔を合わ
せる。試合は、国士舘が次鋒戦で一
本勝を収め、そのまま1―0で勝利
し、見事2連覇、9回目の優勝を成
し遂げた。

女子は、夙川（兵庫）が敬愛（福
岡）に2―0で勝利し、3年ぶり2
回目の優勝を果たした。

□剣道の部（男女各24チーム）

1・2年生により、5人制で行わ



剣道男子決勝次鋒戦＝育英・緒方（左）が攻める

れた。3校ずつの予選リーグの後、
各リーグ1位、計8校による決勝ト
ーナメントで覇が競われた。

男子決勝では、昨年準優勝の育英
（兵庫）と昨年3位の翔凛（千葉）
が対戦。次鋒戦で勝利した育英が翔
凛を1―0で降し、15年ぶり2回目
の優勝を果たした。

女子決勝では、昨年優勝の県立守
谷（茨城）が、筑紫台（福岡）に代
表者戦で勝利し、3年連続9回目の
優勝に輝いた。

□なぎなたの部（男子23名、女子46名）

1～3年生により、男女とも予選



なぎなた男子優勝＝
入江晃太（県立大分西）



剣道女子優勝＝県立守谷（茨城）



剣道男子優勝＝育英（兵庫）



なぎなた女子優勝＝
安藤鈴華（岡山県美作）



柔道女子優勝＝夙川（兵庫）



柔道男子優勝＝国士館（東京）



なぎなた女子決勝＝安藤（左）が攻める

リーグ戦の後、各リーグ1位による
決勝トーナメントで覇を競った。
男子決勝は、入江晃太（県立大分
西）が比留間寿彦（埼玉栄）にスネ
で勝利し、優勝を決めた。
女子は、安藤鈴華（岡山県美作）
が山口桃葉（県立盛岡第二）をメン
で降し、優勝を果たした。

【大会結果】

■剣道

▽男子①育英（兵庫）②翔深（千葉）
③東奥義塾（青森）、郁文館（東京）

▽女子①県立守谷（茨城）②筑紫台（福岡）③桐蔭学園（神奈川）、東奥義塾（青森）

■柔道

▽男子①国士館（東京）②東海大付属相模（神奈川）③県立田村（福島）、東海大付属甲府（山梨）

▽女子①夙川（兵庫）②敬愛（福岡）③県立小杉（富山）、帝京（東京）

■なぎなた

▽男子①入江晃太（県立大分西）
②比留間寿彦（埼玉栄）③黒川大輔（國學院大栃木）、高田政弥（県立甲府昭和）

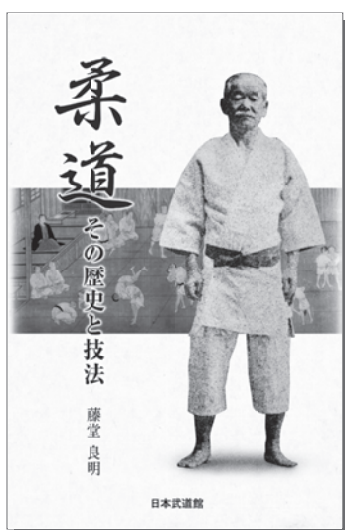
▽女子①安藤鈴華（岡山県美作）
②山口桃葉（県立盛岡第二）③丹沢優月（県立甲府昭和）、久米祥生（埼玉栄）

好評発売中!

柔道 その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円＋税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた「武道としての柔道」を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

- | | | |
|--|--|---|
| <p>第一章 組討ちの起こりと技法</p> <p>体術の起こりと技法</p> <p>組討ちの体系化と技法</p> | <p>第三章 講道館柔道の歴史と技法</p> <p>講道館柔道の創設と技法</p> <p>嘉納治五郎の乱取開発</p> <p>講道館柔道の行事と整備</p> <p>警視庁武術大会の勝利と技法</p> <p>学校体操への柔道導入の試み</p> <p>学校における柔道普及の実態</p> <p>高専柔道の起こりと技法</p> <p>嘉納治五郎の他武道への接近</p> <p>精力善用国民体育の創案と技法</p> <p>全日本柔道選士権大会の開催と技法</p> | <p>第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法</p> <p>第二次大戦中の柔道界と技法</p> <p>第二次大戦後の柔道禁止と復活</p> <p>格技柔道から武道柔道へ</p> <p>女子柔道の競技化と技法</p> |
| <p>第二章 柔術諸流派の歴史と技法</p> <p>竹内流腰廻</p> <p>関口新心流柔術</p> <p>起倒流柔術</p> <p>起倒流柔道</p> <p>直信流柔道</p> <p>真之神道流柔術</p> <p>天神真楊流柔術</p> | <p>第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題</p> <p>柔道技法の変遷と特徴</p> <p>柔道の国際的普及と発展</p> <p>段位制度の国際比較</p> <p>柔道の国際化と課題</p> | |

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

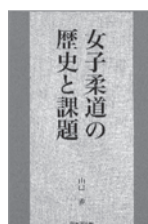


役に立つ 少年柔道指導法

講道館道場指導部課長

向井 幹博 著

(A5判・並製・DVD付・414頁)



女子柔道の 歴史と課題

筑波大学体育系准教授

山口 香 著

(四六判・上製・412頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

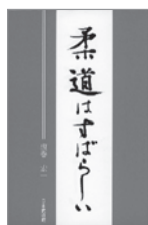


武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



柔道は すばらしい

柔道塾紀柔館館長

腹巻 宏一 著

(四六判・上製・310頁)



今、なぜ武道か —文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道 子どもの心を育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



柔道の国際化 —その歴史と課題—

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・552頁)



嘉納治五郎師範に学ぶ

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・292頁)



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。